

# ローアンの風

職場の安全衛生の  
情報を大阪労連に  
送ってください

発行／大阪労連・安全衛生対策部会 2013年3月28日（木）No.10

## 13春闘！労安要求を掲げてたたかおう！

第6回労安学習会 2月15日（金）18：30 国労会館



第6回労安学習会が2月15日に国労会館で開催され、24人が参加しました。13春闘をたたかう中で、賃金要求とともに労働安全衛生の要求を出してたたかおうと呼びかけ、3つの職場報告をしてもらい、その後討論と交流を行いました。

### 報告①【民営化後の郵政職場】

郵政産業労働者ユニオンの森田さんが報告。民営化後、6ヶ月契約の非正規社員が作られ、6ヶ月毎のスキル評価が賃金や雇用契約更新に大きく影響し、働き方や責任は正社員と同じなのに、厳しい個人責任追及や事故の増加などパワハラやいじめによる精神疾患の労働者が増加し、退職に追い込まれている実態。メンタルを出さない職場づくりがカギと、「パワハラ・いじめは犯罪です。」というポスターを掲示することで職場の雰囲気はすこし変わってきている取り組みを報告しました。

### 報告②【生協職場の労安活動】

おおさかパルコープ労組の中井さんが、報告。正規が3割をきり、非正規職員の要求を聞くことなしには労安活動はすすまない、各事業所での労安委員には、正規とパートから労働者委員を出している。職場での事故防止では、ただちに各事業所に事故発生を知らせ労働者に周知するなど事故発生共有化をはかり、インフルエンザ流行前の巡回接種も実施している。

### 報告③【自治労連の労安活動のとりくみ】

大阪自治労連の中町さんからは、これまで正規職員が4万人減らされ、非正規職員が30%近くにまでなり、長時間労働が常態化。年休取得は27.7%、生理休暇をとれないことから早産、難産の増加、長期病休者のうち7割以上がメンタル休職という実態と、実質的な衛生委員会活動を追求していくことと、職場復帰プログラムの作成と相談窓口の拡充、非正規職員の要求を取り入れていくことが今後の課題と報告しました。

### 【討論&交流】

成果主義が強められ職場の労働者が分断させられ、パワハラが行われて仲間意識をつぶしている。まわりにパワハラだと見えるようにする取り組みが大事。非正規の要求を労安委員会に反映することで職場が風通しよく明るくなる。“職場で心地よく、長く働き続けられる”ように、職場での労働組合の存在がカギ。組合活動をするのが困難な職場もあり、労安活動から始めたいなどの意見がだされました。まとめでは、『抵抗のないところで安全はない。』抵抗して、安全な職場をつくっていかうと締めくくりました。

### 【参加者の感想】

\*いじめ、パワハラは犯罪と位置づけ、働きやすい職場づくりが重要で組合の必要性も再認識させられる報告だと思いました。

\*事故の共有化など情報の共有がすごい。

\*非正規の果たしている役割の大きさがよくわかり良かった。

\*秋闘（賃金以外の諸要求）での安全・衛生統一要求のとりくみを全支部、一斉に提出することを追求する。そうした中で、インフルエンザ予防接種の全額会社負担を勝ち取る成果をおさめた職場も出ている。